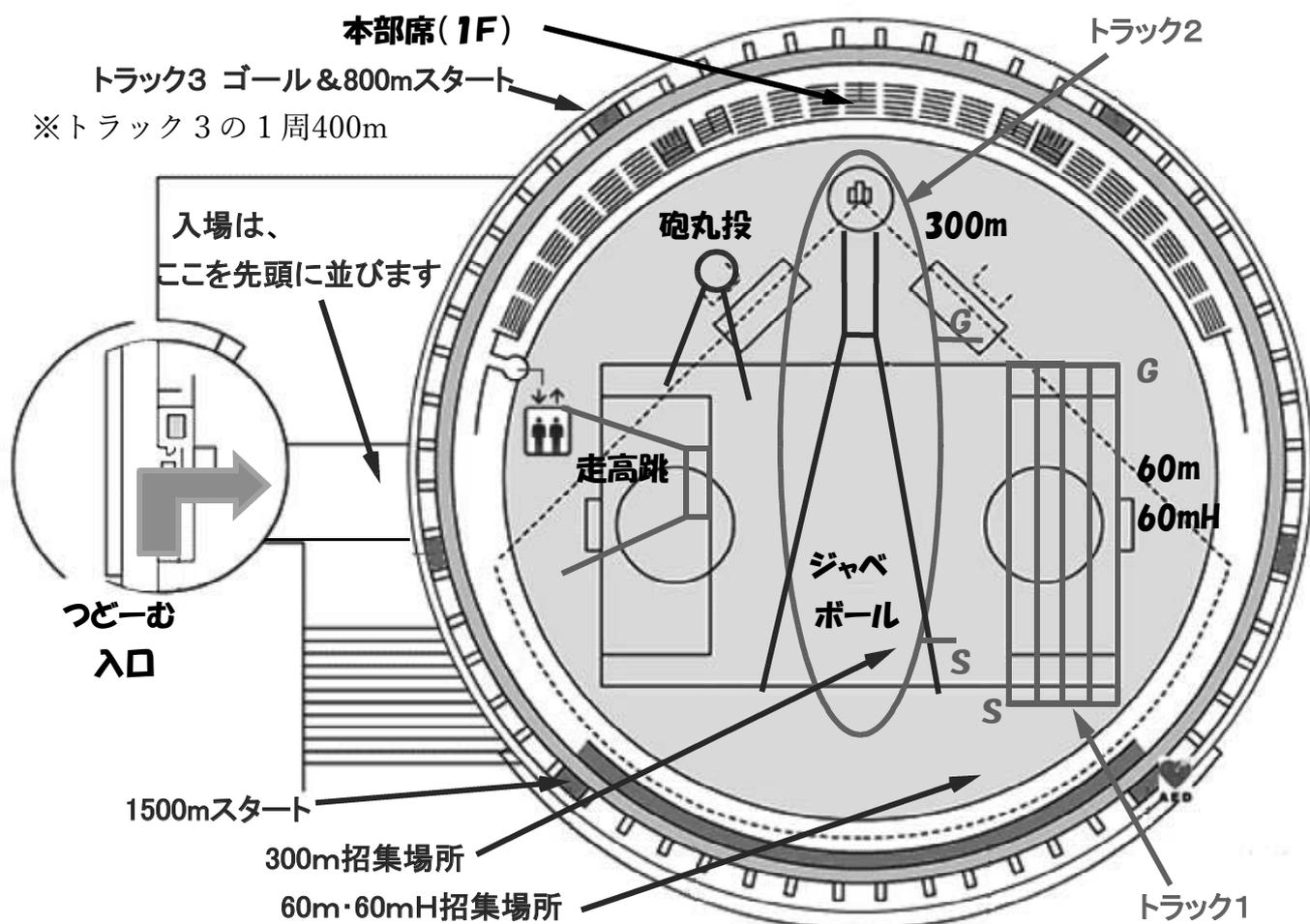


競技注意事項 および 前日(3/14)の練習について

- (1) 本大会は2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則に準じて行う。
- (2) スパイクはスパイクピンを抜いて使用することができる。ただし金属の突起部がとび出していないことが条件となる。（前日練習も同じ）
- (3) 小学5年生の走高跳は「はさみ跳び」で、足裏からの着地でない場合は無効試技となる。
- (4) スタートはイングリッシュコマンドで行い、不正スタートした競技者は1回で失格とする。なお小学生のフライングは1人2回で失格とする。
- (5) 指定されたアスリートビブスを胸と背に、糸or安全ピンで固定する。（走高跳は胸のみ）
- (6) 腰ナンバーカードは各自で用意し、左右の腰の位置に、糸or安全ピンで固定する。
- (7) 各カテゴリーで種目1位となった選手には読売新聞東京本社 北海道支社様からのメダルと賞状を、2位と3位の選手には賞状を授与する。メダルや賞状は1F本部席に取りに来る。
- (8) **トラック競技は招集時間までに招集場所で点呼を受け、ゼッケンを表示する。**

※トラック3（2F周回コース）を使用する800mと1500mのスタート地点は以下の通り



※800mの招集はスタート付近の観客通路で行う

※1500mの招集は、スタート付近のギャラリーで行う。

※800m、1500mのゴール後は、エレベーター付近の出口から退場する。

- (9) 60m、60mHの競技者は、ゴール後自分の走ったレーンに戻り、審判員にアスリートビブス（胸ゼッケン）を見せる。

- (10) 中学60mは、上位6名ずつB・A決勝を行う。(予選7～12位はB、1～6位はA)
※人数が多い場合は本部席で抽選を行う。(放送で伝えるので聞き漏らさないこと)
- (11) フィールド競技は、**競技開始 20分前に各競技場所で点呼を受ける。**
- (12) 走高跳の同じ高さでの試技数は2回までとする。
- (13) 投てき競技の試技数は2回とし、トップ8は行わない。
- (14) ウォーミングアップは2Fランニングコース(トラック3)又は1Fフロアの外側及び屋外で行う。屋外では車の通行に十分に注意する。
※800m、1500mの競技が行われる20分前から競技が終了するまでの間は、2Fランニングコースへの立ち入りを禁止する。
※トラック1(60m・60mH)は競技開始15分前まで、トラック3(800m・1500m)は競技開始20分前まで開放する。ただしトラック2(300m)は使用制限を設けます。注意事項(23)を参照。
- (15) ゴミはすべて持ち帰る。
- (16) 競技中は、競技役員以外は大会本部前の通行を禁じる。
- (17) プログラムは配布しない。AR(アスリートランキング)で確認する。
- (18) **小学生の入場は7:00～、中学生の入場は10:50～とする。**中学生は時間前に会場に到着しても、通路で整列して入場を待ちます。小学生と中学生の両方で出場するチームも一度退場し(座席を空け)再入場します。スタンド席が少ないのでご協力ください。
- (19) 競技終了後は速やかに退場する。
- (20) スタンド席は競技者優先です。応援・見学の保護者はスタンド席の利用を控える。
- (21) 選手の肖像権保護のため、競技中及び観客席からの写真撮影は特別に許可を受けた者(新聞社)以外は堅く禁ずる。ただし表彰式で自分の子供の撮影は除く。
- (22) 競技役員打ち合わせを7:45に本部席前で行う。
- (23) 投てき種目は事故防止のためトラック2(300m走路)周辺を使用してのウォーミングアップの時間を制限します。その間のフィールド内及び周辺の使用を禁止します。特に投てきのウォーミングアップは、その場に必ず指導者がつき事故防止に配慮する。
投てきの優先使用は、小学生ジャベリックボール投は8:00～8:30、中学生砲丸投は11:00～11:30とします。(砲丸投は本部席側の半分程度)投てきのウォーミングアップに使用する用具は各自で用意する。
- (24) トラック種目のウォーミングアップでも、投てき種目のウォーミングアップの状況を注視しながら、事故の起こらないように配慮する。
- (25) ウォーミングアップ中に生じた事故・障害について主催者はいかなる責任も負わない。競技中の事故について、主催者側で応急処置をするが、以後の責任を負わない。

前日練習について(3月14日 土曜日)

・時間 14:30～17:30(退場完了時刻)

大会参加の有無に関わらず、小学生以上であれば誰でも練習会に参加できる。

・参加料 選手1人 300円

本部席前で、現金で支払いをお願いします。「つどーむ」の受付ではない。

- ・注意事項・スパイクについて開催要項：注意事項、及び競技注意事項（２）を参照する。
- ・投てきの用具は各自持参する。（貸し出しはしない）
- ・投てきは必ず指導者がつき、安全に配慮する。
- ・万が一起きた事故について、主催者側はいかなる責任も負わない。
- ・当日１４日は会場設営を同時に行っている。作業への配慮を願います。